

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 5月 30日

事業所名 児童デイサービスリトルスター

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2		集中できる間仕切りのある机を配置。		
	2 職員の配置数は適切である		1	3	送迎時のスタッフ配置。	送迎重複時に人数が足りない。基準配置では活動が困難なため、加配やそれ以上の配置を行うよう目指す。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1			基本的なバリアフリー対応。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			3	1	業務改善の意識を高める。PDCAサイクル表や改善計画書を活用する。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2			業務改善計画書へ連携できるように工夫する。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2		1		HPで公表済み。全職員周知する。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3		第3者評価制度無し。今後検討する。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2			施設内研修及び外部研修への参加を行っている。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		1			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			4		アセスメントの周知と全職員で共有できるように強化する。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2		複数人でプログラムを立案している。	全体としての役割を明確にしていく。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している			3	1		同じ活動が続くことがある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1		3		活動内容に変化を持たせている。	サービス提供時間や、継続期間を理解した設定を再度確認し周知する。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1		3		児発管と担当を中心に話し合いを行っている。	作成プロセスや作成後の流れを再度確認する。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			4			時間を決めて行うようにする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			4			送迎前や送迎後に確実に行うよう徹底する。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			3	1		記録の書き方について再度、確認する。支援の検証への内容を理解する。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2		2			モニタリング内容やサービス等利用計画を参考に見直しを検討。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2		2			複数の活動を提供。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	3	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	1			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている			3		他事業所からの新通所無し。 入学式後の通所は相談員や保護者を通して状況把握。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	1	2			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている			3	1	連携はないので今後検討する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある				4	計画していたが、感染症蔓延の為、延期。 24年度実施計画。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			2	2	参加なし。今後参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	1		3		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている				4	ペアレントトレーニングを学び・実施する。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	1		2		契約時に説明。疑問とあれば対応。 職員の理解を深めていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	2		2		年間予定に家族との面談を設定。 コミュニケーションを深めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2		1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	2		2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4				
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に関わられた事業運営を図っている	3				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2			職員の周知と家族への説明を再度行い、徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				